

Akuta N, Suzuki F, Sezaki H, Hosaka T, Kobayashi M, Suzuki, Y, Saitoh S, Kobayashi, M, Ikeda K, Kumada H.	Evolution of simeprevir-resistant variants in virological non-responders infected with HCV genotype 1b.	J Med Virol	87	609-618	2015
Akuta N, Sezaki H, Suzuki F, Kawamura Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Saitoh S, Suzuki Y, Arase Y, Ikeda K, Kumada H.	Relationships between serum asunaprevir concentration and alanine aminotransferase elevation during daclatasvir plus asunaprevir for chronic HCV genotype 1b infection.	Gut Liver	27	in press	2015
Akuta N, Suzuki F, Kobayashi M, Sezaki H, Kawamura Y, Hosaka T, Kobayashi M, Saitoh S, Suzuki Y, Arase Y, Ikeda K, Kumada H.	Impact of mutations at amino acid 70 in HCV genotype 1b core region on hepatocarcinogenesis eradication of HCV RNA.	J Clin Microbiol 153(9): 3039-3041	53(9)	3039-3041	2015
Hosaka T, Suzuki F, Kobayashi M, Fukushima T, Kawamura Y, Sezaki H, Akuta N, Suzuki Y, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Kobayashi M, Kumada H.	HLA-DP genes polymorphisms HLA-DP genes polymorphisms associate with hepatitis B surface antigen kinetics and seroclearance during nucleot(s)ide analogue therapy.	Liver Int	35	1290-1302	2015
鈴木 文孝、鈴木 義之、芥田 憲夫、瀬崎 ひとみ、川村 祐介、保坂 哲也、小林 正宏、斎藤 聡、荒瀬 康司、池田 健次、近藤 雅紀、古谷 茂之、坂倉 康彦、小林 万利子、熊田 博光	コバスタQMan HCV 「オト」 v2.0の試薬性能検証と臨床的有用性の検討	肝臓	56(1)	21-23	2015
保坂 哲也、鈴木 文孝、小林 正宏、宗林 祐史、國本 英雄、藤山 俊一郎、川村 祐介、瀬崎 ひとみ、芥田 憲夫、鈴木 義之、斎藤 聡、荒瀬 康司、池田 健次、小林 万利子、熊田 博光	本邦におけるB型慢性肝疾患からの肝発癌予測リスクスコアモデル(Japanese risk estimations of HBV-related HCC: JAB-HCC)の作成	肝臓	56(9)	477-481	2015
Migita K, Jiuchi Y, Furukawa H, Nakamura M, Komori A, Yasunami M, Kozuru H, Abiru S, Yamasaki K, Nagaoka S, Hashimoto S, Bekki S, Yoshizawa K, Shimada M, Kouno H, Kamitsukasa H, Komatsu T, Hijioka T, Nakamuta M, Naganuma A, Yamashita H, Nishimura H, Ohta H, Nakamura Y, Ario K, Oohara Y, Sugi K, Tomizawa M, Sato T, Takahashi H, Muro T, Makita F, Mita E, Sakai H, Yatsuhashi H.	Lack of association between the CARD10 rs6000782 polymorphism and type 1 autoimmune hepatitis in a Japanese population.	BMC Res Notes	12:8(1)	777	2015

Migita K, Komori A, Kozuru H, Jiuchi Y, Nakamura M, Yasunami M, Furukawa H, Abiru S, Yamasaki K, Nagaoka S, Hashimoto S, Bekki S, Kamitsukasa H, Nakamura Y, Ohta H, Shimada M, Takahashi H, Mita E, Hijioka T, Yamashita H, Kouno H, Nakamuta M, Ario K, Muro T, Sakai H, Sugi K, Nishimura H, <u>Yoshizawa K</u> , Sato T, Naganuma A, Komatsu T, Oohara Y, Makita F, Tomizawa M, Yatsuhashi H.	Circulating microRNA Profiles in Patients with Type-1 Autoimmune Hepatitis.	PLoS One	Nov17;10 (11)	e0136908	2015
Seki H, Ikeda F, Nanba S, Moritou Y, Takeuchi Y, Yasunaka T, Onishi H, Miyake Y, Takaki A, Nouse K, Iwasaki Y, <u>Nakamura M</u> , Yamamoto K	Abberant expression of keratin 7 in hepatocytes as a predictive marker of rapid progression to hepatic failure in aPBC	Actamedica Okayama	69 (3)	137-44	2015
Hitomi Y, Kawashima M, Aiba Y, Nishida N, <u>Nakamura M</u> , Tokunaga K	Human primary biliary cirrhosis susceptible allele of rs4979462 enhances TNFSF15 expression by binding with NF-1	Hum Genet	134 (7)	737-47	2015
Aiba Y, Yamazaki K, Nishida N, Kawashima M, Hitomi Y, Komori A, Fuyuno Y, Takahashi A, Kawaguchi T, Takazoe M, Suzuki Y, Motoya S, Matsui T, Ezaki M, Kubo M, Tokunaga K, <u>Nakamura M</u>	Disease susceptibility genes shared by primary biliary cirrhosis and Crohn's disease in Japanese population	J Hum Genet	60 (9)	525-531	2015
稲嶺 達夫、中村 稔、塚元 和弘	CYP7A1遺伝子多型が影響する原発性胆汁性肝硬変進化メカニズムの解明	臨床薬理の進歩	36	91-99	2015
中村 稔	原発性胆汁性肝硬変の発症や予後を予測できるか？	分子消化器病	12 (1)	49-57	2015
五十嵐 悠一、谷合 麻紀子、橋本 悦子、児玉 和久、小木曾 智美、鳥居 信之、徳重 克年	経過中に自己免疫性肝炎の病像を合併した超高齢原発性胆汁性肝硬変の2例	肝臓	57 (2)	97-105	2016
Honda A, Ikegami T, <u>Matsuzaki Y</u>	Anti-gp210 and anti-centromere antibodies for the prediction of PBC patients with an incomplete biochemical response to UDCA and bezafibrate	Hepatol Res	45 (8)	827-828	2015
<u>Shimoda S</u> , Tanaka A	It is time to change PBC: new nomenclature from "cirrhosis" to "cholangitis", and upcoming treatment based on unveiling pathology.	Hepatol Res.	doi: 10.1111/hepr.12615.		2015
山際 訓、木村 成宏、本田 博樹、上村 博輝、高村 昌昭、寺井 崇二	【コランギオパチー】免疫介在性コランギオパチー 原発性硬化性胆管炎.	肝胆膵	71 (5)	839-844	2015

恩地 森一、銭谷 幹男、山本 和秀、大平 弘正、青柳 豊、海 老沼 浩利、鈴木 義之、中本 安成、森實 敏夫、吉澤 要、渡 部 則彦、阿部 雅則、玄田 拓 哉、十河 剛、高橋 敦史、高橋 宏樹、根本 朋幸、藤澤 知雄、 三宅 康広、山際 訓、坪内 博 仁、厚生労働省難治性疾患克服 研究事業「難治性の肝・胆道系 疾患に関する調査研究」班。	自己免疫性肝炎(AIH)診療ガイドライン (2013年)。	肝臓	56(5)	217-266	2015
山際 訓、清水 幸裕、塚田 知 香、市田 隆文、寺井 崇二	【肝胆膵領域におけるApheresisのイン パクト】臨床(肝臓) 自己免疫性肝疾 患に対するリンパ球除去療法。	肝胆膵	70(5)	717-723	2015

V. 班員名簿

班 員 名 簿

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
研 究 代 表 者	滝川 一	帝京大学医学部内科学講座	主任教授
研 究 分 担 者	森安 史典	東京医科大学臨床医学系消化器内科学分野	主任教授
	田妻 進	広島大学病院総合内科・総合診療科	教授
	持田 智	埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科	教授
	井戸 章雄	鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系 消化器疾患・生活習慣病学	教授
	大平 弘正	福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科学講座	主任教授
	田中 篤	帝京大学医学部内科学講座	教授
	原田 憲一	金沢大学医薬保健研究域医学系形態機能病理学	教授
	國土 典宏	東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学	教授
研 究 協 力 者	小原 勝敏	福島県立医科大学消化器内視鏡先端医療支援講座	教授
	大藤 さとこ	大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学	准教授
	鹿毛 政義	久留米大学病院病理診断科・病理部	教授
	北野 正剛	大分大学	学長
	橋爪 誠	九州大学大学院医学研究院先端医療医学講座	教授
	吉治 仁志	奈良県立医科大学第三内科	教授
	伊佐山 浩通	東京大学大学院医学系研究科消化器内科学	准教授
	露口 利夫	千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学	講師
	中沢 貴宏	名古屋第二赤十字病院消化器内科第一消化器内科	部長
	能登原 憲司	倉敷中央病院病理診断科	主任部長
	森 俊幸	杏林大学医学部外科学	教授
	玄田 拓哉	順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科	准教授
	坂井田 功	山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学	教授
	滝川 康裕	岩手医科大学内科学講座消化器内科肝臓分野	教授
	清水 雅仁	岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学	教授

	横須賀 收	千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学	教授
	井上 和明	昭和大学藤が丘病院消化器内科	准教授
	織田 成人	千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学	教授
	阿部 雅則	愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学	准教授
	鈴木 義之	虎の門病院分院臨床検査部	部長
	藤澤 知雄	済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科	顧問
	高木 章乃夫	岡山大学病院消化器内科	准教授
	吉澤 要	信州大学医学部附属病院消化器内科 国立病院機構信州上田医療センター	特任教授 副院長
	中本 伸宏	慶應義塾大学医学部内科学(消化器)	専任講師
	鳥村 拓司	久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門	教授
	姜 貞憲	手稲溪仁会病院消化器病センター	主任医長
	小池 和彦	東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科	講師
	小森 敦正	国立病院機構長崎医療センター難治性疾患研究	部長
	中村 稔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻肝臓病学講座	教授
	橋本 悦子	東京女子医科大学消化器内科	教授
	廣原 淳子	関西医科大学内科学第三講座	准教授
	松崎 靖司	東京医科大学茨城医療センター消化器内科	教授
	下田 慎治	九州大学大学院病態修復内科学	講師
	山際 訓	新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野	准教授
	上本 伸二	京都大学医学研究科肝胆膵・移植外科	教授
	江川 裕人	東京女子医科大学消化器外科	教授
	内山 秀昭	九州大学大学院医学研究院 寄附講座外科集学的治療学	准教授
事務局	田中 篤	帝京大学医学部内科学講座	
経理事務担当者	高橋 明夫	帝京大学板橋キャンパス事務部総務課	

VI. 平成 27 年度班会議総会プログラム

厚生労働研究 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
平成 27 年度第一回総会プログラム

研究代表者：滝川 一
(帝京大学医学部内科学講座主任教授)

日本医療研究開発機構研究費(AMED)「難治性の肝・胆道疾患に対する
治療介入の有効性についてのエビデンス作成のための研究」
平成 27 年度第一回総会と合同で行います

期日：平成 27 年 7 月 16 日(木) 10:00～16:30

場所：ステーションコンファレンス東京
5階 503A+B+C+D

(分科会会場：4階 402-A、402-B)

平成 26 年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
事務局：帝京大学医学部内科学講座 田中 篤 (秘書 畔野 カヨノ)
〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
TEL：03-3964-1211 Ext.34647、FAX：03-3964-6627
E-mail：a-tanaka@med.teikyo-u.ac.jp

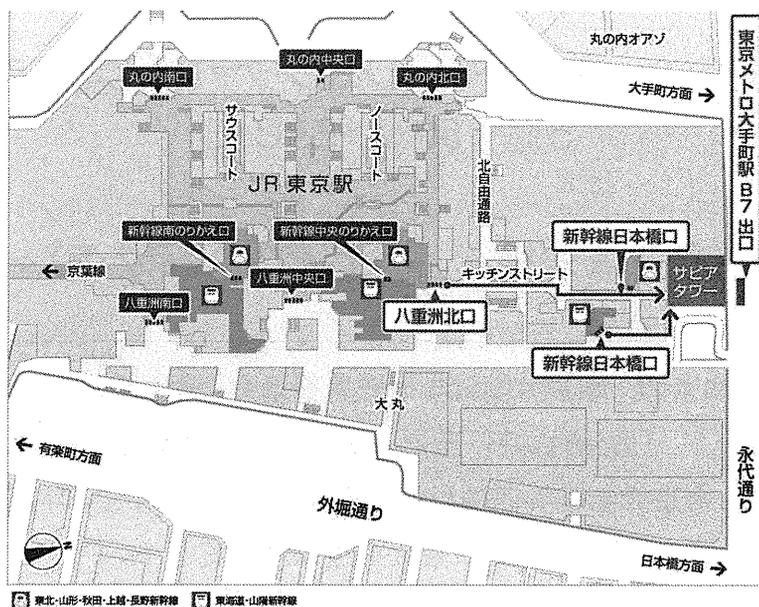
<会場のご案内>

ステーションコンファレンス東京

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー4～6F

TEL 03-6888-8080(代表)

- ・JR 東京駅日本橋口直結
新幹線日本橋口改札徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分
- ・東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結



開 会	10:00
1. 研究代表者 挨拶 (研究代表者 滝川 一)	10:00～10:05
2. 各分科会からの今年度研究計画発表 (1)	10:05～11:45
(1) 劇症肝炎 (座長: 持田 智)	10:05～10:55
1) 劇症肝炎分科会: 全体研究	
	持田 智 (埼玉医科大学消化器肝臓内科)
2) 急性肝不全における HGF 測定の意義	
	井戸章雄 (鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学)
3) 薬物性急性肝不全の高昏睡発現率に関する検討	
	滝川康裕 (岩手医科大学消化器内科肝臓分野)
4) 急性肝不全における感染性合併症の検討	
	横須賀 収 (千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学)
5) 急性肝不全に対する人工肝補助療法の標準化へ向けた取り組み	
	織田成人 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)
6) Online HDF 標準化へ向けての課題	
	井上和明 (昭和大学藤が丘病院消化器内科)
(2) AIH 分科会 (座長: 大平弘正)	10:55～11:45
1) AIH 分科会の年度計画	
	大平弘正 (福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)
2) AIH 全国調査	
	大平弘正 (福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)
3) 急性肝炎期 AIH の新規診断基準と治療指針の策定	
	吉澤 要 (信州大学医学部内科第二)
4) 重症度判定基準の再評価 今後の課題	
	銭谷幹男 (国際医療福祉大学臨床医学研究センター山王病院)
5) AIH 患者における QOL 調査	
	大平弘正 (福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)
— 昼食・休憩 (11:45～12:45) —	
3. 研究分担者会議 (昼食時): 4 階 402-C	11:55～12:25

4. 各分科会からの今年度研究計画発表 (2) 12:45~14:45
 (3) PBC 分科会 (座長: 田中 篤) 12:45~13:45
- 1) 原発性胆汁性肝硬変第 16 回全国調査
 廣原淳子 (関西医科大学内科学第三講座)
- 2) PBC において胆管細胞破壊に関与する細胞集団の階層性研究
 下田慎治 (九州大学病態修復内科学)
- 3) 大西班登録 PBC 症例の追跡調査
 松崎靖司 (東京医科大学茨城医療センター消化器内科)
- 4) 原発性胆汁性肝硬変症例に対するベザフィブラート追加時の UDCA 投与量の検討
 山際 訓 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野)
- 5) 肝不全に至った PBC 症例の調査研究
 中村 稔 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・新興感染症病態制御学系専攻・
 肝臓病学講座、国立病院機構・長崎医療センター・臨床研究センター)
- 6) 原発性胆汁性肝硬変における肝移植症例の臨床病理学的検討 ～長期生存例を中心に～
 橋本悦子 (東京女子医科大学消化器内科)
- 7) PBC の診療ガイドライン (2012 年) 改定へ向けた取り組み
 小森敦正 (国立病院機構・長崎医療センター・臨床研究センター)
- (4) 肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (座長: 田妻 進) 13:45~14:45
- 1) 硬化性胆管炎・全国調査
 田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座)
- 2) 小児期発症の原発性硬化性胆管炎の腸内細菌叢の検討
 藤澤知雄 (済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科)
- 3) 硬化性胆管炎診断基準と重症度分類・病理から
 能登原憲司 (倉敷中央病院病理診断科)
- 4) 硬化性胆管炎診断基準と重症度分類・画像から
 中沢貴宏 (名古屋第二赤十字病院消化器内科)
- 5) 硬化性胆管炎診療指針
 伊佐山浩通 (東京大学大学院医学系研究科消化器内科学)
- 6) 肝内結石コホート調査
 森 俊幸 (杏林大学医学部外科学)
- 7) 肝内結石症診断基準: 重症度分類と診療ガイドライン
 露口利夫 (千葉大学大学院医学研究院腫瘍内科学)

— 休 憩 (14:45~15:00) —

5. PBC・PSC についての臨床研究計画 (AMED 班) 15:00～15:30
- 1) PBC の皮膚搔痒感に対するナルフラフィン塩酸塩の有効性の検証
- 2) PSC に対するベザフィブラートの有効性の検証
田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座)
6. 各分科会からの今年度研究計画発表 (3) 15:30～16:20
- (6) 門脈血行異常症 (座長: 森安史典) 15:30～16:20
- 1) 門脈血行異常症分科会の昨年度進捗状況と本年度の計画
森安史典 (東京医科大学臨床医学系消化器内科学分野)
- 2) 門脈血行異常症に関する全国疫学調査 (中間報告)
大藤さとし (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)
- 3) 門脈血行異常症に関する定点モニタリング (進捗報告)
大藤さとし (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)
- 4) 検体保存センターのこれまでと今後
橋爪 誠 (九州大学大学院医学研究院先端医療医学講座)
7. 事務局連絡 16:20～16:25
- 旅費精算
 - 研究費執行
 - 第2回総会、APASL2016 AIH/PBC サテライトシンポジウムのご案内
8. 閉会の挨拶 (研究代表者 滝川 一) 16:25～16:30
- 閉 会 16:30
- <ワーキンググループ会合>
- 劇症肝炎分科会 (402-A) 10:55～11:45
- 肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (402-B) 10:55～11:45
- AIH 分科会 (402-A) 10:05～10:55
- PBC 分科会 (402-B) 10:05～10:55
- 移植分科会 (402-A) 15:30～16:20

厚生労働研究 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
平成 27 年度第二回総会プログラム

研究代表者：滝川 一
(帝京大学医学部内科学講座主任教授)

日本医療研究開発機構研究費(AMED)「難治性の肝・胆道疾患に対する
治療介入の有効性についてのエビデンス作成のための研究」
平成 27 年度第二回総会と合同で行います

期日：平成 28 年 1 月 21 日(木) 10:00～16:40

場所：ステーションコンファレンス東京
5階 503A+B+C+D

(分科会会場：4階 402-A、402-B、402-C)

平成 27 年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」

事務局：帝京大学医学部内科学講座 田中 篤 (秘書 咩野 カヨノ)

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL：03-3964-1211 Ext.34647、FAX：03-3964-6627

E-mail：a-tanaka@med.teikyo-u.ac.jp

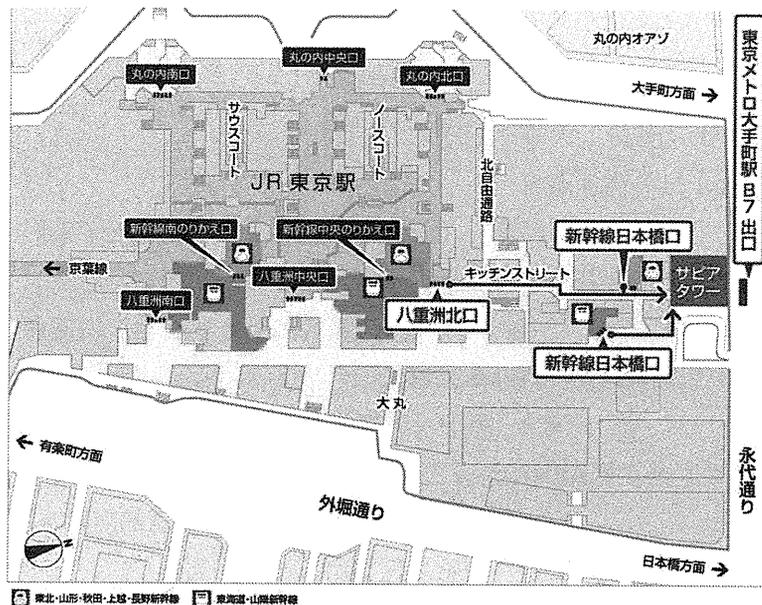
<会場のご案内>

ステーションコンファレンス東京

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー4～6F

TEL 03-6888-8080(代表)

- ・JR 東京駅日本橋口直結
新幹線日本橋口改札徒歩 1分、八重洲北口改札徒歩 2分
- ・東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結



開 会	10:00
1. 研究代表者 挨拶 (研究代表者 滝川 一)	10:00~10:05
2. 各分科会からの発表 (1)	10:05~12:05
(1) 劇症肝炎分科会(座長:持田 智)	10:05~11:05
1) わが国における急性肝不全および遅発性肝不全の実態報告 (2014年) - 平成27年度全国調査 -	
持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)	
2) Acute on chronic liver failure の多施設共同調査(パイロットスタディ)	
持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)	
3) WGⅢアンケート最終報告:劇症肝炎の全国症例分布から導かれること	
藤原 慶一 (千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学)	
4) 自己免疫性急性肝不全における感染性合併症の検討:全国集計データを含めた検討	
安井 伸 (千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学)	
5) 薬物性肝障害の重症化要因に関する検討	
滝川 康裕 (岩手医科大学内科学講座消化器内科肝臓分野)	
6) 急性肝不全におけるHGF測定の意義	
森内 昭博 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学)	
7) 急性肝不全治療の合併症 Online HDFとステロイドパルスをめぐって	
井上 和明 (昭和大学藤が丘病院消化器内科)	
8) 劇症肝炎患者の脳死肝移植登録状況と移植実施率、待機死亡率に関する調査	
玄田 拓哉 (順天堂大学医学部附属静岡病院)	
(2) AIH分科会(座長:大平 弘正)	11:05~12:10
1) 急性肝炎期AIHの病理所見	
原田 憲一 (金沢大学医薬保健研究域医学系形態機能病理学)	
2) 急性肝炎期自己免疫性肝炎の診断指針作成—臨床所見	
吉澤 要 (信州大学医学部附属病院消化器内科)	
3) 自己免疫性肝炎全国調査の集計結果報告	
有永 照子 (久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門)	
4) 小児自己免疫性肝炎全国調査結果報告	
十河 剛 (済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科)	
5) 全国調査からみた自己免疫性肝炎重症度判定基準の妥当性	
鈴木 義之 (虎の門病院分院臨床検査部)	

6) A I H患者におけるQ O L調査

高橋 敦史 (福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)

7) 小児のP S CとA I Hの overlap

梅津 守一郎 (済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科)

— 昼食・休憩 (12:10~12:55) —

3. 研究分担者会議 (昼食時) : 4階 402-A 12:20~12:40

4. 各分科会からの発表 (2) 12:55~14:30

(3) P B C分科会 (座長: 田中 篤) 12:55~14:30

1) 原発性胆汁性肝硬変全国調査

廣原 淳子 (関西医科大学内科学第三講座)

2) P B C患者におけるQ O L調査

三浦 幸太郎 (帝京大学医学部内科学講座)

3) P B Cにおける胆管細胞破壊に関与する細胞集団の階層性研究

下田 慎治 (九州大学大学院病態修復内科学)

4) 大西班登録PBC症例における追跡調査データの解析

本多 彰 (東京医科大学茨城医療センター消化器内科)

5) ベザフィブラート投与PBC症例におけるUDCA投与量の検討

山際 訓 (新潟大学大学院医歯学総合研究科・消化器内科学分野)

6) P B Cにおける皮膚掻痒に対するナルフラフィン塩酸塩の有効性の検証 (臨床試験)

田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座)

7) 原発性胆汁性肝硬変の肝移植例に関する臨床病理学的検討

橋本 悦子 (東京女子医科大学消化器内科)

8) 肝移植に至ったP B C症例の特徴

中村 稔 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・新興感染症病態制御学系専攻・
肝臓病学講座、国立病院機構・長崎医療センター・臨床研究センター)

9) 原発性胆汁性肝硬変に対する肝移植後予後因子に関する多施設前向き研究

江川 裕人 (東京女子医科大学消化器外科)

— 休憩 (14:30~14:45) —

5. 各分科会からの発表 (3) 14:45~16:30

(4) 肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (座長: 田妻 進) 14:45~15:45

1) P S C 2015年全国調査

有住 俊彦 (帝京大学医学部内科学講座)

- 2) 硬化性胆管炎診断基準、重症度分類
中沢 貴宏 (名古屋第二赤十字病院消化器内科)
- 3) PSC診断におけるIDUS/POCSの有効性
芹川 正浩 (広島大学病院消化器・代謝内科)
- 4) 肝内結石症コホート調査
鈴木 裕 (杏林大学医学部外科)
- 5) 肝内結石診断基準・重症度分類・診療ガイドライン策定
露口 利夫 (千葉大学大学院医学研究院腫瘍内科学)
- 6) PSCに対するベザフィブラートの有効性の検証 (医師主導治験計画)
田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座)
- 7) PSCを罹患し肝移植適応と判断された患者に関する後ろ向き調査
赤松 延久 (東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科)
- (5) 門脈血行異常症分科会 (座長: 森安 史典) 15:45~16:30
- 1) 門脈血行異常症に関する新規ガイドライン作成の進捗状況と今後の予定
古市 好宏 (東京医科大学臨床医学系消化器内科学分野)
- 2) 門脈血行異常症に関する全国疫学調査
大藤 さとこ (大阪市立大学公衆衛生学)
- 3) 門脈血行異常症に関する定点モニタリング
大藤 さとこ (大阪市立大学公衆衛生学)
- 4) 検体保存センターの在り方と今後の展望
赤星 朋比古 (九州大学大学院医学研究院先端医療医学講座)

6. 事務局連絡

16:30~16:35

- 旅費精算
- 研究費執行
- 研究報告書作成
- PBCの病名変更について
- APASL2016 AIH/PBC satellite symposium についてのご連絡

7. 閉会の挨拶 (研究代表者 滝川 一)

16:35~16:40

閉 会

16:40

<ワーキンググループ会合>

AIH分科会 (402-A)	10:05~11:00
劇症肝炎分科会 (402-B)	11:00~11:55
肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (402-C)	11:00~11:55
移植分科会 (402-A)	15:45~16:30

